

## 2023 年暑中見舞い企画

今春からようやく支部活動がほぼいつも通り開催することができるようになりました。

今年は各地で集中豪雨被害や7月からは猛暑日の連続でさぞ厳しい日常を過ごされていることと存じます。毎年継続しております「高齢者暑中見舞い企画」を7月下旬に実施いたしました。

中部支部の会員で支部の行事に参加されにくい80～84歳の東海地区会員26名と北陸分会5名の計31名の会員の皆様に暑中見舞い挨拶文と共にお茶をお送りいたしました。 (幹事 金井)



令和5年7月吉日

昭和シェル社友会中部支部のご高齢者の皆様へ

// 北陸分会の皆様へ



### 暑中お見舞いのご挨拶

中部支部ご高齢の皆様及び北陸分会の皆様 暑中お見舞い申し上げます。

長かったコロナ禍を脱し、4月7日には久しぶりに支部総会及び懇親会を開催し 19名の会員が参加され、7月7日には17名の皆様方の参加で夏季懇親会を開催いたしました。

6月26日には東京で「全国拡大支部長会議」が開催され、主に高齢化における社友会活動の活性化について意見交換がなされました。具体的な有効策はないものの会員各位が社友会の行事に参加することこそが、社友会のモットーである“健康寿命を伸ばす”ことにつながるというのが結論でした。翌27日の「全国大会」では全国から90名の参加があり、当支部からは4名が参加致しました。

出光興産の星野執行役員からは「経営現況について」の講話があり、その後「ヒューマンギャラリー」の見学のあと、川崎日航ホテルへ会場を移して懇親会が盛大に行われました。

さて、6月末現在の中部支部の会員数は89名、平均年齢は79歳となっており、更なる高齢化が進んでおります。今年も80歳以上85歳未満の皆様方と、北陸分会の皆様方にはこの“暑中見舞い状”と“お祝いの品”をお届けし、85歳以上の皆様方には9月に“敬老の日”に合わせてお送り申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、コロナ禍で過去に経験したことのない3年半にわたる不自由と物価高に直面した厳しい生活であったと思いますが、今後とも健康管理にはより十分に留意され お元気にお過ごしください。

皆様方との再会とご健勝ご多幸を中部支部役員一同心からご祈念申し上げます。

昭和シェル社友会 中部支部支部長 田中 清彦